



「U-29 キャリア図鑑」が地方創生 SDGs 官民連携優良事例に選出 学校と10~20代の社会人・起業家をつなぐゲストティーチャーマッチングサイト

本市と㈱ユニーク（本社：茨城県筑西市辻、代表取締役：山崎貴大）が連携して開発したゲストティーチャーマッチングサイト「U-29 キャリア図鑑」が2023年度地方創生 SDGs 官民連携優良事例※（内閣府が運営する地方創生 SDGs 官民連携プラットフォームが選定）に選ばれました。2023年度は計55件の応募があり、一般部門での優良事例に選出されました。



▲詳細は



■ 取組概要

今回受賞した「U-29 キャリア図鑑」は、学校教師がユニークな人生を歩む10~20代の社会人・起業家などに対して登壇依頼ができるゲストティーチャーマッチングサイトです。

これまで学校教員には、「ゲストティーチャーを招きたいがゲストとなる社会人とのつながりを広げることが難しい」「もっと生徒の将来に役立つキャリア教育の機会を作りたい」「生徒と年齢が近く、イキイキと働く現役社会人の姿や話を生徒に届けたい」といった課題や想いがあったことから、29歳以下向けのコミュニティメディアを運営する㈱ユニークと連携し、生駒市内の学校で実施を重ねながらマッチングサイトの開発を進めました。

令和5年3月に試験（β）版を公開し、全国の公立小・中学校で、多様なゲストティーチャーと授業の企画ができるようになりました。本市でも今年度U-29 キャリア図鑑を活用して、オンラインでの職業体験や学校に来てもらって対話する授業を作ってきました。様々な価値観の大人に触れる機会を経て、児童生徒の視野や世界が広がったことが授業後のアンケートから見て取れました。この取組を通じて、社会に開かれたキャリア教育の実現につなげ、生徒・学生の主体性を引き出す授業、複雑な情勢を今後生き抜くために必要なチャレンジ精神や想像力を育む機会が創出されることを期待しています。

なお、この取組は本市協創対話窓口を通して実現しました。

◇㈱ユニーク

2021年創業。U-29世代を取材するインタビューメディアと取材先コミュニティを運営。メディア・コミュニティを通して得たコネクションを活用し、法人・地域等との間でマッチング機会も企画運営。

◇協創対話窓口

本市は令和2年3月に公民連携の提案窓口「生駒市協創対話窓口」を設置。民間主体と行政が対話による相互理解を進め、アイデアを出し合い、強みを掛け合わせることで、地域課題の解決や新たな価値を協創によって実現することを目指します。

この件に関する報道関係からのお問合せ ☎0743-74-1111

全体概要…教育政策室（室長 日高、内線 2721）、協創対話窓口…SDGs推進課（課長 金子、内線 2100）